

2014(H26)

〈県〉「学びの革新 アクションプラン」
・資質・能力の育成を
目指す主体的な学び

2003(H15)～2011(H23)
福山市学校教育ビジョンⅠ～Ⅲ

2012(H24)～2016(H28)
「福山市学校教育ビジョンⅣ」
小中一貫教育の創造
(準備期間3年)

2015(H27)

〈国〉一部改正「地教法」
・地方教育行政における
責任の明確化(新教育
長の設置等)

全面実施
小中一貫教育

3つの転換
(授業・組織・評価)

福山に愛着と誇りを持ち、
変化の激しい社会をたくましく
生きる子どもを育てる。

- 1・2・3で取り組む
小中一貫教育
1 カリキュラム
(自ら考え学ぶ授業)
2 ふるさと学習
3 市民一丸

2016(H28)

〈国〉「教育の機会確保法」
・不登校の児童生徒等に多様
な学びの場を提供
〈県〉「教育に関する大綱」
・一人一人が、生涯にわたって主体
的に学び続け、多様な人々と協働し
て新たな価値を創造する人づくり

福山100NEN 教育

1st year

日々の授業を中心とした全教育活動の中で、
「21世紀型“スキル&倫理観”」を育み、
日常の様々な場面で行動化できる学びをつくる。

2017(H29)

〈国〉「学習指導要領」改訂
・社会に開かれた教育課程
・主体的・対話的で深い学び
・教科「道徳」、「外国語」新設等
〈県〉「遊び学び育つひろしまっ子」推進プラン
・小学校以降の教育の基盤となる
自ら学ぶ意欲を育む

2nd year

「第二次福山市教育振興基本計画」
=教育に関する大綱 (2017→2021)

2018(H30)

〈国〉「Society5.0に向けた人材育成
～社会が変わる、学びが変わる～」
・個別最適化された学びを実現する
多様な学習の機会と場の提供
・異年齢・異学年による協働学習等
〈県〉「学びの革新」全県展開
・「主体的な学び」の推進、カリキュラム・マネジメント
・「学校における働き方改革取組方針」「部活動の方針」策定

「子ども主体の学び」全教室展開
3rd year 学びが面白い!

計画・予定通り vs 臨機応変
既成概念・価値観(当たり前) vs 疑問(何故?)

2019(H31→R元)

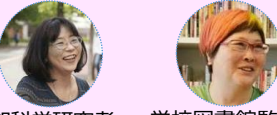
〈国〉「学習評価の在り方」報告
・学習、指導の改善に繋がる評価、必要性・
妥当性が認められない評価の見直し
〈国〉「学校における働き方改革に
関する取組の徹底」
・時間、健康管理を意識した働き方
〈県〉「個別最適な学び担当」設置
・「イェナプラン教育」導入の研究

カラフル
4th year



福山100NEN 教育応援団

(50音順)



認知科学研究者
慶応義塾大学
今井むつみ 教授



学校図書館監修
児童文学評論家
赤木かん子 氏



福山市学力向上アドバイザー
文科省
大根田頼尚 専門官



福山市政策アドバイザー
福山100NEN 教育研究員
(社)Community Future Design
澤 尚幸 代表理事



福山T・Aコーディネーター
福山市政策アドバイザー
(株)出島プランニング
出島誠之 代表

<福山100NEN 教育研究員>

東京大学大学院医学系研究科 客員研究員
大田 章子 研究員
慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
貴洞 聖彦 研究員
(株)カリス採用就職アドバイザー
中村 剛 研究員

《その他 官民連携》
*経産省 *埼玉県教委
*(株)教育測定研究所 他



とは…

子どもたちが
“内発的動機付け”に
基づいて学んでいる姿

内発的動機付け

- *新しいことを知ることができて嬉しい
*問題を解くことが面白い
*勉強することが楽しい

非自発的 外発的動機付け

- *先生や親に叱られたくない
*成績が良いと褒美がもらえる
*先生や親に褒められたい

- 6月「小中一貫教育と学校教育
環境に関する基本方針」
8月「学校規模・学校配置の
適正化計画(第1要件)」

2012(H24)～業務改善・教育活動の精選等 ♥補助員

- 指導要録・学校日誌・週案等の
デジタル化、グループウェア導入、
教育課程届出制等
♥小中一貫補助員 60人
♥校務補助員(県)5人

日々の授業を中心とした全教育活動の中で、
「21世紀型“スキル&倫理観”」を育み、
日常の様々な場面で行動化できる学びをつくる。

「仕組み」づくり (Scrap & Build)

主体的・対話的で深い学び

学びをつくる
教職員研修

多様な学びの場の提供

元気・笑顔で
学び続ける教職員

- ◆研究教科等の固定化
・全ての教科の研究を継続・積み上げる
◆カリキュラム・マップ作成
・21世紀型“スキル&倫理観”の育成で
各教科等や行事等に関連付けた教育
課程(カリキュラム)を編成

- ◆市内一斉研修日の設定
・原則毎月第3木曜日の午後、授業研究を
中心とした研修の実施(参加者:全教職員)
◆公開研の市教委指定

◆夢・未来プロジェクト ・子どもたちの夢の実現を応援

- ◆民間の団体・施設で相談・指導を受けている
児童生徒の出席扱い
・フリースクール、放課後等デイサービス等と連携し、
不登校児童生徒の努力を踏まえながら、適切に
出欠の判断をする

- ◆生徒指導規程の見直しスタート
・児童生徒主体で「考え・作り・守る」ものへ
◆地域学習活動支援事業
・地域在住の退職教職員等の支援を得て、
基礎学力の補充等を行う(小4～6年)
【教室数】(2021 現在)
【放課後チャレンジ教室:31 土曜チャレンジ教室:2]

- ◆ユネスコスクール加盟申請スタート
【加盟状況】(2021年3月未現在)〔市立校数 小74校 中33校 中高一貫・義務教育 各1校〕
加盟:小学校10校 中学校2校 中高一貫校1校
申請中:小学校48校 中学校17校 義務教育学校1校 計79校/109校

- 一斉研修日設定、研究教科固定等

- ♥小中一貫補助員 30人 ♥図書館補助員 10人
♥校務補助員(県)10人・(市)49人

- ◆(小)学びづくりフロンティア校【2校】
・小1の国語・算数の授業を中心に、学力の
基礎である「言葉」や「数」を獲得する過程を
明らかにする
◆(小)年間総時数の上限設定
・教育内容(質)と時数(量)の両面から
教育課程を整理

- ◆(中)教科の専門性パワーアップ(2018終了)
・一斉研修の中学校教科別研修において
大学講師等を招聘した通年的な指導
(参加者:全教職員)

◆夢・未来プロジェクト ・子どもたちの夢の実現を応援

- ◆民間の団体・施設で相談・指導を受けている
児童生徒の出席扱い
・フリースクール、放課後等デイサービス等と連携し、
不登校児童生徒の努力を踏まえながら、適切に
出欠の判断をする

- ◆生徒指導規程の見直しスタート
・児童生徒主体で「考え・作り・守る」ものへ
◆地域学習活動支援事業
・地域在住の退職教職員等の支援を得て、
基礎学力の補充等を行う(小4～6年)
【教室数】(2021 現在)
【放課後チャレンジ教室:31 土曜チャレンジ教室:2]

- ◆ユネスコスクール加盟申請スタート
【加盟状況】(2021年3月未現在)〔市立校数 小74校 中33校 中高一貫・義務教育 各1校〕
加盟:小学校10校 中学校2校 中高一貫校1校
申請中:小学校48校 中学校17校 義務教育学校1校 計79校/109校

- 夏季一斉閉庁、部活動休養日、
出席簿簡素化等

- ♥小中一貫補助員 24人 ♥図書館補助員 15人
♥校務補助員(県)12人・(市)55人

「子ども主体の学び」づくり (Active learning)

- ◆(小)学びづくりパイロット校【7校】
・教科や学年の枠を超え、子どもの学びに即した
カリキュラムの編成・実施
・学ぶ過程をみる評価の在り方の研究・実施
◆(中)探究学習プログラム【5校】
・実在の企業や人物を題材に、正解のない課題探究を
総合的な学習の時間カリキュラムに導入
◆(中)外国語ラウンドシステム【5校】
・4技能(聞・読・話・書)の総合的な定着を目指す
学習法の導入

- ◆学力の伸びを把握する調査
【2中学校区(2中6小)]
・項目反応理論(IRT)による調査で、個々の学力や
非認知能力の伸びを把握し、個に応じた学びづくりの
工夫

◆子ども主体の学びづくり研修

- ・放課後の時間を利用し、動画や資料等を基に学びにつ
いて交流・協議(参加者:希望者)
(2018年度 397名参加)

- ◆ようこそ美術館プロジェクト ・全小4児童を「ふくやま美術館」に招待
◆ばらのまち 福山国際音楽祭 ・全小5児童をクラシック等コンサートに招待

- ◆「きらりルーム」設置【中学校6校】
・集団で学ぶことが難しくても、個に応じた学習
支援により主体的に学ぶことができる教室整備
(2018年度末 30日以上欠席者 59人減)

- ◆2019 経産省「未来の教室」実証事業
・個に応じた学習計画や ICT 活用により、きらり
ルームに登校する生徒の主体的な学びをつくる
教育環境
モデル校:城東中 協力:明達館高等学校
実証企業等:東大 ROCKET,学研プラス,
NTT ドコモ

- 「働き方改革取組方針」「部活動方針」策定
部活動休養日週2日以上,17時以降の電話制限等

- ♥小中一貫補助員 12人 ♥図書館補助員 17人
♥校務補助員(県)12人・(市)82人

【2018年度 時間外勤務の状況】
[45h以内] 小:68.6% 中:40.4%
[80h超] 小:0.6% 中:9.0%

- ◆(小)学びづくりパイロット校【7校】
・教科や学年の枠を超え、子どもの学びに即した
カリキュラムの編成・実施
・学ぶ過程をみる評価の在り方の研究・実施
◆(中)探究学習プログラム【5校】
・実在の企業や人物を題材に、正解のない課題探究を
総合的な学習の時間カリキュラムに導入
◆(中)外国語ラウンドシステム【5校】
・4技能(聞・読・話・書)の総合的な定着を目指す
学習法の導入

- ◆21世紀型ティーチャーズ・プログラム……深化……
・教員自ら「主体的・対話的で深い学び」の実践者となる
(参加者:教委・校長が推薦する市立中学校教諭等35名)

◆ようこそ美術館プロジェクト

- ・全小4児童を「ふくやま美術館」に招待
◆ばらのまち 福山国際音楽祭

- ◆「きらりルーム」設置【中学校6校】
・集団で学ぶことが難しくても、個に応じた学習
支援により主体的に学ぶことができる教室整備
(2018年度末 30日以上欠席者 59人減)

- ◆2019 経産省「未来の教室」実証事業
・個に応じた学習計画や ICT 活用により、きらり
ルームに登校する生徒の主体的な学びをつくる
教育環境
モデル校:城東中 協力:明達館高等学校
実証企業等:東大 ROCKET,学研プラス,
NTT ドコモ

- 留守番電話 (検討事項)学籍、出欠席、成績、
徴収金等一括管理システム導入

- ♥小中一貫補助員 3人 ♥図書館補助員 24人
♥校務補助員(県)12人・(市)93人 ♥部活動指導員 56人

【2019年度 時間外勤務の状況】
[45h以内] 小:81.1% 中:48.9%
[80h超] 小:0.2% 中:7.6%

2020(R2)

- 〈国〉小学校「学習指導要領」実施
- 〈国〉「GIGAスクール構想の実現」
 - ・校内通信ネットワークの整備, 児童生徒一人一台端末の整備による公正に個別最適化された学びの実現
- 〈国〉「改正給特法」第7条関係施行・教職員の業務量の適切な管理
- 〈県〉「公立高等学校入学者選抜制度の改善」(令和5年度から)
 - 15歳の生徒に付けさせたい力 (自己を認識し, 自分の人生を選択し, 表現することができる力)
- 〈県〉「学校における働き方改革取組方針」(令和2年3月)

- 〈国〉「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す, 個別最適な学びと, 協働的な学びの実現～(答申) 令和3年1月26日 中央教育審議会
- 〈県〉「教育に関する大綱」 令和3年2月
 - ・基本理念: 広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現
 - ・一人一人が, 生涯にわたって主体的に学び続け, 多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくり

2021 (R3)

- 〈国〉中学校「学習指導要領」実施 ※ 高等学校 2022(R4)実施
- 〈国〉「義務教育標準法の一部を改正する法律」4/1 施行
 - ・小学校学級編成の標準の引き下げ(40人→35人)
 - ・少人数学級の計画的整備(段階的に R7年度末迄に)



5th year

「子ども主体の学び」全教室・家庭展開
 学びが **面白い!** **もっと** **デジタル**



4/16~5/6 全国に緊急事態宣言発出

コロナ時代の学び

6th year

〈教室・学校, 学校外(家庭等)の姿〉

2021 リアル&デジタル



- ◆(小)学びづくりパイロット校【+4校】
- ◆(中)探究学習プログラム【新規5校】
- ◆(中)外国語ラウンドシステム【+10校】
- ◆学力の伸びを把握する調査【全校実施】
- ◆全校・校区で SDGs の設定
 - ・SDGs を意識したカリキュラムの見直し
- ◆「大好き! 福山〜ふるさと学習〜」副読本(デジタル版)リニューアル開始
 - ・SDGs スタートブックの編集 (2020年度末完成)
- ◆福山ティーチャーズ・アカデミー
 - ・これまでの価値観を問い直し未来の教育に向けた実践研究 (対象:市立学校教諭 50名)
- ◆小学校1学年担任研修
 - ・子どもの経験や意欲を大切に学ぶづくり
- ◆県個別最適な学びに関する実証研究事業 (1/2年目)【福山中】
 - ・生徒一人一人が, 自らの興味・関心を基に企画書・タスク(仕事)・スケジュールを考え, 「My 探究」の実践
- ◆プログラミング教育支援ツールの導入
 - ・「ネットワークを活用したプログラミングによる問題の解決」を学ぶ教材の導入
- ◆「こども発達支援センター」教員長期研修
 - ・発達相談や医療的支援の実際を通して, 個に合った支援を理解し, 指導的役割を担う人材の育成 (対象:市立学校教諭等 前後期各1名)



「第三次福山市教育振興基本計画」策定(2022.3)
 「福山みらい創造ビジョン」(2021→2025)

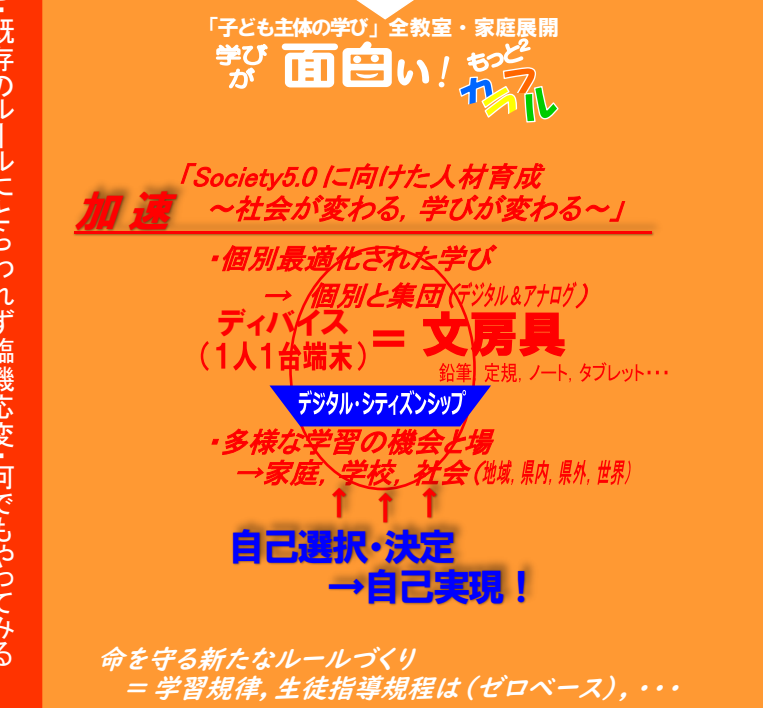
- 2020 経産省「未来の教室」実証事業 (《継続》) モデル校: 城東中
- ◆「かがやき」(フリースクール)西部開設
 - ・在籍校と連携し, 登校が難しい児童生徒へ個に応じた指導・支援を行う場 (既存: 中央, 東部)
- ◆GIGA スクール構想
 - ・全児童生徒 1人1台端末提供(年度内)
 - ・学習用クラウドサービス活用(Google 社)
 - ・赤坂 GIGA スクール実証事業((株)メディアテック心他)
 - ・ハッカソン実証事業((株)ベネッセコーポレーション他)
- ◆学校図書館の充実 (2020年度:24校改装)
 - ・環境整備 (図書館改修, 蔵書の廃棄・購入等)
 - ・補助員等研修実施 (学校図書館運営・活用等)
 - ・改修予定 20校以外の図書室の整理
- ◆全校「教育課程内容別一覧」教委 HP へ掲載
 - ・教育課程の特徴, SDGs, 評価, 時数, 使用副教材, 生徒指導規程, ...
- ◆民間・公共プールを活用した水泳授業【小6校】
 - ・試行実施の効果・課題の検証→実施校増を検討
- ◆イェナプラン教育校設置準備 (2022開校)
 - ・1~3年の異年齢集団による学びスタート
- ◆特認校(広瀬学園)設置準備 (2022開校)
 - ・「自立」と「共生」に向けた多様な学習活動を通して, 一人一人の成長を大切に学校
- ◆遺芳丘小学校・駅家北小学校開校



- ◆(小)学びづくりパイロット校【11校】
- ◆県:小学校低学年学が喜びサポート事業 (1/1年目)【千年少】
- ◆(中)探究学習プログラム【新規3校】
 - ◆県:探究的な学習の在り方研究推進事業 (1/3年目)【一ツ橋中校区】
 - ◆県:キャリア教育カリキュラム開発事業 (1/3年目)【新市中央中校区】
- ◆県:個別最適な学びに関する実証研究事業 (2/2年目)【福山中】
- ◆(中)外国語ラウンドシステム【全校】
 - ◆県:5ラウンドシステムに関する実践的研究 (1/1年目)【培遠中】
- ◆県:中学校英語 ICT 活用による言語活動充実 (1/1年目)【朝の浦学園】
- ◆学力の伸びを把握する調査【全校実施2年目】
- ◆ICT 活用研修(基礎・発展・応用)
- ◆教職員ニーズ研修
- ◆外国語ラウンドシステム実践交流
- ◆「学ぶ過程」の評価システム等の研究・構築

デジタル・シティズンシップ
 子どもが自ら判断し 日常的に学びに活用する
 端末は 情報モラル, リテラシー

- 夏休み(8月のみ)短縮→年間を通して授業時間原則5時間の実施
- 評価の在り方, 使用教材の見直し
- ♥図書館補助員 28人
- ♥校務補助員(県)13人・(市)93人
- ♥部活動指導員 45人
- 【2020年度 時間外勤務の状況】
 [45h以内] 小:96.6% 中:77.2%
 [80h超] 小:0.01% 中:0.2%
- 経産省「未来の教室」実証事業「部活動プラットフォーム」
 - ・プロアシストなど専門のコーチからオンラインによるサポート
- 《継続》モデル校: 城北中, 福山中高 実証企業: 住友商事



- 2021 経産省「未来の教室」実証事業 (《継続》) モデル校: 城東中
- ◆1人1台端末整備による「個別最適な学び」の推進
 - ・文科省実証事業によるデジタル教科書の活用【全校】
 - ・各校が選択した EdTech(AI 型ドリル等)の活用
 - ・オンライン授業の研究・実施(緊急時の学校休業等へも対応)
 - ・不登校傾向にある児童生徒へのオンライン学習等
- ◆フリースクールの充実
 - 校内:きらりルーム【6中2小+(21中14小1義)】
 - 校外:「かがやき」の充実【中央, 東部, 西部】
 - ◆県:不登校スペシャルサポートルーム(SSR)【誠之中校区】
- ◆民間・公共プールを活用した水泳授業【+6校】
- ◆2022 学校再編による新たな学校4校開校! 最終年準備
 - ・イェナプラン教育校「常石ともに学園」
 - ・特認校「広瀬学園」
 - ・義務教育学校「想青学園」
 - ・中中再編校「新市中央中学校」

認知科学の常識 ①②
 常識① 「知っている」と「使える」は別。(できる≠わかる)
 常識② 分かりやすく教えれば, 教えられた内容が学び手の脳に移植され定着するという考えは, 幻想である。

- 「働き方改革取組方針」改訂
- 1人1台端末を活用した業務改善
 - ・生徒出席簿のデジタル化試行実施【小:全校 中:22校】
 - ・「福山 100NEN 教育」アンケート (端末・スマホから回答可)
- 校務の情報化(学級通信, 採点・成績, 校務支援システムの充実等)
- ♥図書館補助員 34人
- ♥部活動指導員 68人 ♥学習支援員 36人
- ♥校務補助員(県)38人・(市)93人

引き出す 広げる・つなげる
 学びのプロセスをサポート
ファシリテーション

使えるものは何でも使うことができる人から。既存のルールにとらわれず臨機応変・何でもやってみる

命を守る新たなルールづくり
 = 学習規律, 生徒指導規程は(ゼロベース), ...